

校訓	盡己	令和4年度学校通信 「松崎中だより」 第5号	発行日	令和4年6月17日
教育目標	すべてのことに全力で取り組む生徒の育成 「一生懸命勉強する」「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 佐藤 幸宏

教育実習を終了（修了）しました

6月10日、教育実習が終わりました。6名の実習生が、教師になるための研修を受け、3週間充実した日々を送りました。また、指導教官や担当学級の生徒との関わりを深め、多くのことを学びました。立派な先生になってくれることを願っています。以下実習生の皆さんからのメッセージを紹介します。



【M1先生】 貴重な体験をさせていただきました。初めは、授業で内容を教えることが難しく生徒に伝わらない部分が見られました。しかし、日が経つにつれて緊張の糸がほぐれてきました。人に教えるとき、自分が理解していないと生徒も理解してくれないので常に勉強することが大切であると実感しました。短い間でしたが有り難うございました。

【A先生】 先生と言う職業の大変さとやりがいを感じました。授業準備を何時間も行き「生徒に理解してほしい、楽しさを知ってほしい」と思う事は1つのやりがいでもありました。元気に挨拶をしてくれた生徒の皆さんのおかげでこの3週間頑張ることができました。私も大学に戻り先生になるという夢を叶えるために頑張ります。皆さんも勉強に部活動に頑張ってください。短い間ではありましたが本当にありがとうございました。

【M2先生】 非常にたくさんのことを学ぶことができました。教科指導や生徒指導の難しさを1週間目で学び、2週間目から授業実践及び授業見学を行いました。この実習で学んだことを将来の教員生活に活かします。生徒の皆さんはこれから様々なことを経験していきます。経験した事は皆さんにとってとても大切なものになります。今後の学校生活頑張ってください。3週間本当にありがとうございました。

【T先生】 毎日が学ぶことばかりで、あっという間の充実した日々でした。「教育」の難しさを肌で感じる事ができ、とても勉強になりました。自分が認識していた教師の仕事よりも多くの仕事があることを知り、驚きを隠せませんでした。生徒の皆さんにも恵まれ、整った環境で3週間過ごさせていただき感謝するばかりです。3週間ありがとうございました。



【M3先生】 たくさんのことを学び、経験できました。授業が思い通りに進まず、たくさんの失敗もしました。実習中は不安になることもありました。「私は本当に良い先生になれるのか」と思う時もありました。しかし、先生方からの励ましの声や生徒の皆さんから「授業楽しかったです」と声をかけてくれた時はとても嬉しかったです。もっとたくさん経験を積んでいい先生になろうと思いました。15日間と言う短い間でしたが、たくさんの人に支えられ助けられました。本当にありがとうございました。

【F先生】 たくさんことが学びました。生徒の皆さんとお話もたくさんでき、すごく楽しかったです。またいつか皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。ありがとうございました。

避難訓練を実施しました。

6月10日6校時に避難訓練を行いました。今回は火災から自分の命を守るために行われたもので、まずは避難経路や通報のための警報装置等をきち



んと確認し安心安全についてじっくり考える機会となりました。災害は、「いつ」、「どこで」起こるかわかりません。「自分は大丈夫」「いつでも避難できる」と安易な考えでいる人ほど、事故に巻き込まれたときパニックになり身動きがとれなくなります。日頃から安全に対する知識と心構えを強く持ち、災害時に冷静に対応できる準備をしておきましょう。3学年一斉に行う避難訓練は3年ぶりでした。やはり3年生、行動が早だけでなく落ち着きがあり1,2年生の見本となりました。そのためか、どの学年も集合後真剣な眼差しで担当の先生の話聞く人が多く頼もしく思いました。その気持ちや姿勢を、今後の学校生活にも活かしてください。

授業参観にお越しいただき、ありがとうございました

6月13日、14日の2日間(5,6校時)授業参観を行いました。3年ぶりの実施であり、コロナウイルス感染予防対策として13日は生徒出席番号前半、14日は後半の保護者に限定、また廊下からの参観とするなど、保護者の皆様にはご不便をおかけいたしました。何とか実施でき13日には186名、14日には180名の方に来ていただくことができました。たくさんの保護者に見守られながらの授業。中学生活初めての参観日でもあり、気恥ずかしかった生徒もいたのではないのでしょうか。本校は「**「できる」「わかる」授業の追求～ふり返りを大切にし、学習意欲を高める授業づくり～**」をテーマに授業研究を行っています。授業の「ふり返し」を教科ごとに工夫し興味関心、疑問等をもとに「問い」を生み出し次の授業(学び)に繋げています。その一端を感じていただけたでしょうか。ありがとうございました。